

地域医療学B

(Community Medicine B)

担当教員

教授 楠本 正明

非常勤講師 砂川 雅之

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
薬学専門教育（講義）	4年次 後期	講義	1.5単位	必修

【概要】

本講義では医療経済学を学ぶ。薬剤師は安心・安全な医薬品の供給と医薬品適正使用、そして医療経済への貢献が求められている。近年、医療の高度化や高齢化社会の到来により、医療費を取巻く環境が益々厳しくなってきた。医療は経済と密接に関係しており、その多くは医療保険制度に依存していることから、この仕組みを理解する必要がある。本講では社会保障制度、医療保険制度及び介護保険制度の成り立ちと仕組みに関する基礎知識、実際の医療現場で使われている診療報酬体系及び調剤報酬体系について、そして薬価制度を踏まえた薬剤経済評価について講義する。

【授業の一般目標】

社会保障、保険医療、介護の基本的な制度及び運営にかかる知識を修得し、医療を経済面から分析・評価できる能力を身につける。

【関連する卒業認定・学位授与方針】 DP3

【準備学習(予習・復習)】

次の学習項目に該当するテキスト箇所を読んだ上で講義に臨むこと。特に、医薬品の価値・費用対効果、薬剤経済分析は本テキストにて十分事前学習し講義に臨むこと。予習と復習には一週あたり150分の学習が必要である。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	医薬品市場と流通、後発医薬品の役割	楠本	医薬品の市場の特徴と流通の仕組みについて概説できる。後発医薬品（ジェネリック医薬品）とその役割について説明できる。	B-(3)-②-1 B-(3)-②-3
2	社会保障制度	砂川	日本における社会保障制度のしくみについて概説できる。	B-(3)-①-1
3	公的医療保険制度、国民医療費	砂川	公的医療保険制度の役割、医療保険制度の成り立ちと現状・しくみ・種類、国民の福祉健康における医療保険の貢献と問題点、国民医療費の動向と内訳、医薬品生産金額、医療従事者数、医療施設数、薬局数について概説できる。	B-(3)-①-2 B-(3)-②-2
4	高齢者医療保険制度、公費負担医療制度	砂川	高齢者医療制度のしくみと公費負担医療制度について概説できる。	B-(3)-①-2 B-(3)-①-4
5	介護保険制度	砂川	介護保険制度のしくみを概説できる。	B-(3)-①-5
6	薬価基準制度、薬価算定方式	砂川	保険医療と薬価制度の関係、診療報酬と薬価制度、新規医薬品の価格を決定する要因について説明できる。	B-(3)-①-6
7	診療報酬体系・保険医療機関及び保険医療費担当規則(1)	砂川	診療報酬体系、診療報酬における医療費の支払い方法、保険医療機関及び保険医療費担当規則について説明できる。	B-(3)-①-7 B-(3)-①-3
8	診療報酬体系・保険医療機関及び保険医療費担当規則(2)	砂川	保険診療及び診療報酬の構成、診療報酬点数の算定について説明できる。	B-(3)-①-7
9	調剤報酬体系・保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則(1)	砂川	調剤報酬体系、保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則について説明できる。	B-(3)-①-3 B-(3)-①-7
10	調剤報酬体系・保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則(2)	砂川	保険調剤及び調剤報酬の構成、調剤報酬点数の算定について説明できる。	B-(3)-①-7
11	介護報酬体系	砂川	介護報酬の仕組みについて概説できる。	B-(3)-①-7
12	医薬品の価値・費用対効果(1)	砂川	薬物治療の経済評価の意義について説明できる。薬物療法の経済評価手法を概説できる。	B-(3)-②-4
13	薬剤経済分析(1)	砂川	モデルによる分析手法について説明できる。	B-(3)-②-4

14	薬剤経済分析（2）	砂川	代表的な症例をもとに、薬物治療の経済的な観点から解析できる。	B-(3)-②-4
15	総括・まとめ			

(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書 詳説薬剤経済学第3版	砂川雅之 その他	京都廣川書店

【成績評価方法・基準】
定期試験100%

【評価のフィードバック】
講評は、掲示にて対応する。